

○水生生物モニタリング調査結果一覧（阿武隈川河口沖K）

＜阿武隈川河口沖K 水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
調査地点						
K-3	○	○	○	○	○	○

阿武隈川河口沖K 放射線測定項目

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)
K-3 (表層)	38.0458°	140.9518°	R1. 8. 21	08:42	08:55	24. 4	18. 4	砂混シルト	5Y3/1	貝殻片	19. 5	6. 0
K-3 (下層)				08:17		19. 8						

阿武隈川河口沖K 一般分析項目・放射線測定項目

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
K-3 (表層)	38.0458°	140.9518°	R1. 8. 21	08:42	8. 1	0. 7	1. 9	7. 3	4660	30. 54	1. 1	1	0. 8	N. D. (0. 0014)	0. 0022	—
K-3 (下層)				08:17	8. 0	<0. 5	1. 2	6. 8	4990	33. 50	0. 9	2	1. 5	N. D. (0. 0014)	0. 0078	0. 00092

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

阿武隈川河口沖K 一般分析項目・放射線測定項目

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)						
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2～75mm) (%)	粗砂 (0. 85～2mm) (%)	中砂 (0. 25～0. 85mm) (%)	細砂 (0. 075～0. 25mm) (%)	シルト (0. 005～0. 075mm) (%)	粘土 (0. 005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)					
調査地点																										
K-3	38.0458°	140.9518°	R1. 8. 21	08:55	7. 6	209	39. 8	5. 4	11. 3	2. 677	0. 0	0. 2	0. 3	26. 0	54. 4	19. 1	0. 051	2. 0	20	270	N. D. (0. 13)					

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

阿武隈川河口沖K 一般分析項目・放射線測定項目

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
阿武隈川河口周辺海域	阿武隈川河口前面海域	—	—	R1. 8. 21	脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	アイナメ	<i>Hexagrammos otakii</i>	アイナメ	1	0. 43	成魚	カ=類、貝類	内臓除去	0. 85	N. D. (0. 39)	0. 85	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon brandti</i>	マルタウグイ	2	2. 6	成魚	不明消化物	内臓除去	1. 5	N. D. (0. 35)	1. 5	0. 074
					脊椎動物	硬骨魚	フグ	フグ	<i>Takifugu pardalis</i>	ヒガンフグ	1	0. 69	成魚	空胃	内臓除去	0. 55	N. D. (0. 34)	0. 55	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。